

## 報 告 書

( チームボッコウ (道下 班) )

開 催 日 時	平成 30 年 10 月 25 日 (木) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	三隅公民館	
出 席 議 員	道下 文男、沖田 真治、串崎 利行、 飛野 弘二、芦谷 英夫	
	司会者	道下 文男
	報告者	道下 文男
	記録者	芦谷 英夫 飛野 弘二
参加人数	10 人	
主な要望・提言等 A 班	<p>1 <u>テーマ：「地域づくり」について</u></p> <p>(1) 周辺地域が年々寂れてきている。</p> <p>(2) 高齢者が寄り合うサロンの場所が欲しい。</p> <p>(3) 子供は宝。親が胸を張って子供に言える浜田市の地域づくりが必要。</p> <p>2 敬老乗車券交付事業</p> <p>本来中山間地域対策事業であったはずなのに、いつの間にか全市事業になっている。同じ扱いはおかしい。中山間地域の事情が全く分かっていない。</p> <p>3 中山間地域は農地の保全が全てだ。そのためには、担い手、若者の確保、儲かる農業の仕組みづくり、組織づくりをどのように考えているのか。</p> <p>4 ふるさと寄付の使い道を市民に公表して欲しい。合わせて、返礼品提供事業者を含む市民の要望を聞いて欲しい。</p> <p>5 山陰本線 21 時以降の消滅対策は。</p> <p>6 市職員は、退職後も進んで地域の活動に関わって欲しい。</p> <p>7 公民館に市職員を配置して欲しい。</p> <p>8 地域の人材育成（リーダー・担い手）が必要。</p> <p>9 支所体制の強化が必要。</p>	

<p>主な要望・提言等 B 班</p>	<p><u>1 テーマ：「自治会、町内会の活性」について</u></p> <p>(1) 今後の自治区制度について簡単な話ではない。合併の話し合いででき、法律を改正までしてできたもので、全国に誇れるものにすべきだ。自治区制度はもういいという声もあるが、自治区制度で地域づくりをなし遂げるべきである。</p> <p>(2) 町内の役が多すぎて、職員がなっている、まちづくりで寄って、仲良くすることだ。年配者になって決めて、60代が決めたことを若い人がやっている。若い人に決めさすようにすべきである。(意見：都会は自治会に入っていない。)</p> <p>(3) 役職、肩書が20を超えている。地域組織のあり方、この指とまれで募ってやったが行き詰まっているのが現状であり、もっと若い人、女性などバランスを考えるべきである。</p> <p>(5) 学校連絡網でもやっているが、LINEの連絡網を活用してはどうか。(意見：LINEができるものでやればどうか。自由な意見交換でき、参加しやすく、意見表明ができるのではないか。)</p> <p>(6) 自治組織は集まってやるべきで、参加しない人がいるのをどうするか。行ってみて意見を言ってみてを、やるべきだ。高齢化が進み、徐々に広げるなどの余裕はない。自治会長が困っており、よりやりやすい形を決めてほしい。(意見：私たちの地域では、ふるさと創生未来会議をつくって若い人の参加、発言を促している。)</p>
-------------------------	---

<p>主な要望・提言等 B班（芦谷）</p>	<p>(7) まちづくり推進委員会でやっているが、中山間地と町場があり同じテーマ・レベルで当てはめてやるのは無理がある。町内会や役が多すぎるが、コミュニティが必要なのは中山間地域で、都会ではコミュニティがなくても暮らせる。やりやすい回せる組織を地元でつくる必要がある。市内の郊外国府・長浜・周布・美川などまとまっており運動会などしている。必要のないところは放っておいて、必要になればできてくる。似たような役があり集中しており、それにとらわれず無くすものは無くしてはどうか。まちづくり推進委員会が進められており、その中で考えて、地域の受け皿をつくるべきである。</p> <p>(8) 楽しくなかったら人は来ないが、地域差があり、人が引っ張っていかないとできない地域がある。常会は全戸来ないとできない、呼びに迎えに行っている。高齢で文書が見られない人がおり、書面ではなく発言し説明しみんなで話すべきである。（意見：若い人に言ってもやってくれないジレンマがある。）</p> <p>(9) 人を集める楽しいこと、みんなで楽しむ、楽しめる何か見つける行事をつくることをしている、食べることは人が集まりやすく、運動会で景品をいっぱい出している。要は、人を楽しませるためには自分自身が楽しむようにするべきである。</p> <p>(10) 月 1～2 回イベントをしているが、市はまちづくり総合交付金では飲み会をするなど言っているが、もっと柔軟に使えるようにすべきである。（意見：常会后、独居で家へ帰れば 1 人暮らしで、久しぶりに人と話をした人が合言葉となっており、行事があるから集まるのであって一人も取りこぼさないようにしており、常会などに来ない人は後で見て回っている。）</p>
----------------------------	--

<p>主な要望・提言等 B班（芦谷）</p>	<p>(10) 集まりは仕方なくやっている。仕方なく長になる、その人の得手不得手があり、まとめ方によっては有利不利が出てくる。職員が張り付き、仕切れば不公平が生じず、市が介入せざるを得ないのではないか。</p> <p>(11) 地域づくり先進地では市職員が入ってやっているが、浜田市職員に聞くと「できない」と言う。自治組織をまとめるには力量がいる。いきおい生活保障されている人に、となる。現状を市と地域で共有する必要があり、人を集めることを市が地域に丸投げしており、市が努力すべきである。地域の未来を市としてどうするのか考えてほしい。</p> <p>(12) 自治区のあり方の話し合いに行ったが、まず地域の現状を把握してほしい。運動会もできる、高齢者も子どもも一緒に遊べるような地域をつくってほしい。農業か、イノシシ対策か、地域の課題など把握してほしい。仕事が終わって疲れて地域のことするのはしんどくてできない、年齢が上がり切羽詰まっている。何が問題で無理なのか突き詰めてほしい。</p> <p>(13) 若い人が敬遠し、文句も出るが、言えば言うほど仕事を背負うことになり、「行かない、言わない」になる。家のことを犠牲にして、放っておいてやることになる。米は作っても赤字で、行政は耕作放棄地をつくるな、里山を守れ、瑞穂の環境を守れと言うが、農家への戸別所得補償もなくなった。代替りの独自のものを市が打ち出してほしい。</p> <p>(14) 人口が減ることは問題ではなく、それにより困ったことがあれば困るのであって、1億2千万が8千万に減るだけのこと、どこが困るのか具体化すべきで、問題は収入である。</p>
----------------------------	--

<p>主な要望・提言等 B班（芦谷）</p>	<p>2 自治区制度がなくなれば、地域は確実に衰退する。全国に誇れる自治区制度を構築する考えは。</p> <p>3 自治会や町内会の集まりは、仕方なくやっけていて仕方なく長になっているのが現状である。職員が張りついて、長になる人のフォローをしてあげるシステムを築く考えは。</p> <p>4 若者や女性の町内会への進出が望まれるが、市の考えは。</p> <p>5 中山間地の耕作放棄地対策へ、米の戸別所得補償制度の市独自の代案への考えは。</p> <p>6 自治会、町内会の活性化について</p>
----------------------------	--

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

平成 30 年 11 月 2 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

チー ム ボ ッ コ ウ (道 下 班)

代 表 者 道 下 文 男

当日の様子

